

首都と省都をつなぐ街 — 「保定」



みなさん、保定という場所をご存知でしょうか？

保定は中国の首都である北京と河北省の省都である石家荘市の中間地点に位置しており、北京からは140キロあり普通列車で約1時間30分から2時間、高速列車では約1時間で保定市に到着します。石家荘市から普通列車で1時間から1時間半、高速列車では約40分で到着することができます。

保定の四季は別れており、冬の寒さは厳しく、夏は乾燥した熱さが肌を焦

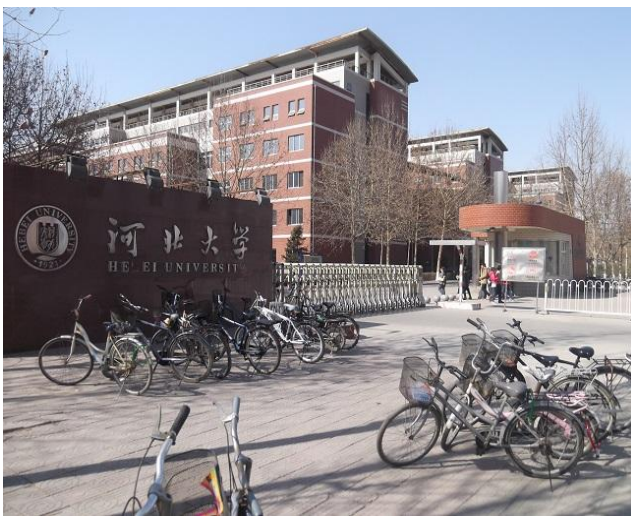
がします。春の風は強く砂埃がひどいですが、秋は気持ちのいい気候となります。保定の人口は河北省の中で一番多く、約1200万人の人々が生活しています。現在、保定では河北省で一番高い建物を建設中ですが、すでに下の方の階は完成され、ショッピングモールとして人々に親しまれています。

保定には中国政府から認められたA5級観光地が二か所、A4級観光地が八か所あり、観光資源に富んだ土地でもあります。この観光地の多くが歴史的建造物であり、保定に3000年を超える歴史があることを教えてくれます。清の時代には直隸総督署が置かれ清朝が滅亡するまで周辺地域を統治していました。今でも建物が保存されており、見学することができます。また、唐の時代に建設され、中国国内の十大名園の一つの「古蓮花池」も



あり、当時の皇帝たちの憩いの場となっていました。市街地から離れた場所には清朝の歴代皇帝の墓が収められている清西陵という場所もあります。

そして、教育機関が多くあることも保定の特色と言えるでしょう。中国の近代史の中で初めて正規の陸軍学校が作られた場所が保定です。この陸軍学校の卒業生は 6000 人を超え、この卒業生の中には蒋介石もいます。現在、校舎は残っていませんが、軍校広場として市民の憩いの場となっています。凧揚げやこま回しといった昔ながらの遊びを家族や友人と遊んでいる光景をよく見かけます。



また、保定には河北省の省立大学である河北大学があることを始め、華北電力大学、華北農業大学といった本科大学が 10 校ほどあるとのこと。大学だけではなく研究機関も多くあり、その数は 140 以上の研究センターやそれに準じる機関があります。河北大学には、県の派遣研修事業として研修員を派遣しており、中国・河北省に対する理解を深めています。

話は変わりますが、ここで保定の産業についても紹介したいと思います。保定の産業で大きく占めているのは車産業です。街中でも多くの車を見ますが、保定周辺には大きくの自動車メーカーの看板を見かけます。車の部品製造工場などが多くあり日系企業も進出しています。しかし、こうした工場が大気汚染を進めてしまっている原因の一つでもあります。こうしたことは河北省全体にいえること中国 74 都市の汚染度のワーストランキングでは上位五位が河北省の都市でした。保定は五位に入っており、石家荘市は一位に入っています。保定市はこうした大気汚染を少しでも和らげられるように、新エネルギーの利用研究や使用の実践をしています。一番身近なところではタクシーやバスの燃料です。最近ではガソリンを使わず、ガスを燃料にしている車両が多く道を走っているとのこと。こうした新エネルギーの活用も保定を支える産業の一つになっていくかもしれません。

